

長崎市立三原小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」

MIHARA TIMES

令和5年12月18日発行

文責 校長 宮原 友彦

◆ ありがとう ありがたい あたりまえ？

感謝の気持ちを伝えるときに使われる「ありがとう」。ありがとうの語源は「有り難し」と言われています。「有り難し」は、「めったにないこと」を表す形容詞になります。めったにないことがあった時に、感謝し、お礼を述べる気持ちになることは想像できます。

その「ありがとう」の対義語（反対語）に当たる言葉が「当たり前」になります。これは「当然」から「当前」、それを訓読みにした言葉とのこと。当然ということですから、当たり前は、特別ではなく、ありふれたことになるのでしょうか。

さて、三原小でも「当たり前」ではなく、「有り難い」ということを実感する出来事がありました。最近4年生の道徳で「地域の方との関わり」について考える題材があったのですが、交通指導員の方々や地域の方々が、ボランティアとして児童の安全を守るために活動していることを知って驚いた児童が多くいました。そのことに対し、「〇〇さん、ありがとうございます。」と直接声をかけたいと書いた児童がたくさんいました。その活動自体を「有り難し」と児童が感じたということです。

また、先日朝の1校時から体育があったのですが、みんなが少しでも早く「ティーボール」ができるようにと、遊んでいる友達を横目に、黙々と一人で準備していた児童がいました。うれしいことに、その姿に気づいた仲間が2名ほど手伝っていました。これもまた「有り難い」行動でした。「みんなのことを考えて」行動できる三原っ子の姿でした。

◆ 児童の携帯電話の利用状況調査の結果より

先日実施された児童生徒の携帯電話の利用状況調査の結果が届きました。その中で、気になる点がありましたので、お知らせいたします。

長崎市の主な傾向としては、

○中学校入学時に、多くの保護者がスマートフォンを買い与える傾向がある。

○フィルタリングやペアレンタルコントロールの設定については、県よりも低い設定率であり、5割以上の児童生徒がフィルタリングまたはペアレンタルコントロールを「利用していない」「わからない」と回答している現状がある。

○小学5年生から中学3年生まで約90名の児童生徒が「ネットで知り合った人と実際に会った（または会いそうになった）」と回答している。

携帯電話（含 スマートフォン）は確かに便利な道具です。しかし、買い与えるときには、本当に必要なのか（「みんな持っているよ!」と子どもが言うときは実はそうでないときが多いものです（^-へ;）、用途や、フィルタリングやペアレンタルコントロールなどの対策をとっているかを確認し、家庭のルールをしっかりと決めたいと決めることによいですね。大人になって手にした我々でもフィッシング詐欺にかかる世の中、判断が未熟な未成年のデジタルネイティブですから、大人の目や声かけは必須だと思います。

三原に吹く風

◆ 募金へのご協力、ありがとうございました！

先日お知らせしましたように、12月11日（月）～15日（金）の期間において、運営委員会が中心となって募金活動を行いました。（NHK 海外助け合い運動（日本赤十字社）と歳末助け合い運動（社会福祉協議会））おかげさまで、**9,732円**もの浄財が集まりました。ご協力ありがとうございました。

宮原のつぶやき

いよいよ年の瀬となってきました。この時期には「年賀状」と「大掃除」という大仕事がありますね（^-へ; 特に年賀状は教師という職業上、教え子から届くことも多く、返すのは大変でもあるのですが、大きな喜びでもあります。

この年賀状が2024年秋頃に現行の63円から85円に値上げとなるというニュースが飛び込んできました。ここ数年、「年賀状じまい」をする人も増えつつある世の中、こたつに入って、年賀状を見つつ、なかなか会えない人に想いをはせるというお正月の風物詩もなくなっていくのでしょうか…（^-へ;）